

第10回国家公務員共済組合連合会契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成29年 9月12日(火) 九段合同庁舎9階 共用第一会議室	
委員 (敬称略)	委員長 栗田 誠 (千葉大学大学院社会科学研究院教授) 委員長代理 藤川 裕紀子 (藤川裕紀子公認会計士事務所 公認会計士) 委員 渡辺 周 (平沼高明法律事務所 弁護士) 委員 大澤 勉 (国家公務員共済組合連合会 常任監事) 委員 磯野 宏志 (国家公務員共済組合連合会 常任監事)	
審議対象期間	平成28年度	
抽出案件	5 件	備考
① 競争性のない随意契約における随意契約事由の妥当性・経緯及び契約金額の妥当性	1 件	【案件1】 契約件名 : 検体検査業務委託 契約締結日:平成28年4月1日 担当部局 : 高松病院(病院部)
② 競争契約における入札参加資格の設定理由・入札の経緯、入札手続きの妥当性	- 件	
③ 競争契約における入札参加資格の設定理由・入札の経緯、入札手続きの妥当性(一者応札)	2 件	【案件2】 契約件名 : リネンサプライ賃貸借物及びクリーニングの業務委託 契約締結日:平成28年4月1日 担当部局 : 熱海共済会館(宿泊事業部) 【案件3】 契約件名 : リネンサプライ・クリーニングの業務委託 契約締結日:平成28年4月1日 担当部局 : 目黒宿泊所(宿泊事業部)
④ 落札率が100%であったものについて、予定価格の設定に関する妥当性	1 件	【案件4】 契約件名 : CT画像3次元解析システム VINCENT 契約締結日:平成28年7月25日 担当部局 : 佐世保共済病院(旧令病院部)
⑤ その他委員会が審議を要すると認めた契約の契約方式の妥当性等	1 件	【案件5】 契約件名 : 行政システムにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に係るシステム開発(詳細設計工程、製造・テスト工程)等作業 契約締結日:平成28年4月19日 担当部局 : 本部(経理部)
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
理事長に対する意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答等
<p>【案件 1】</p> <p>検体検査業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単年度契約としているが、「特段の事情がなければ4年間延長する」という約束ならば、複数年契約と変わらず、複数年契約の方がわかりやすかったのではないか。 ・予定価格の積算が粗いのではないか。単年度ごとの随意契約だったとしても、毎年度作成する予定価格は、委託検査の種類や件数の増減、人件費の変化等を考慮し、細かく積算した方がよい。 ・ブランチラボ方式については、そのメリット・デメリットを考慮し、次回更新時に採用するかどうかを検討した方がよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年当時は、当会において複数年契約の締結が可能になった時期であるが、当該病院は「複数年契約は途中解約ができない契約」という誤解をしていた。そのため、検査業務の水準が病院の要求に満たない業者が落札することを懸念し、単年度ごと4年間延長することとしたため、平成28年度の契約が随意契約となったもの。 ・予定価格については、委託費積算に当たっての条件やその変化等を考慮し、細かく積算することとしたい。 ・直営病院では、現在3病院がブランチラボ方式を採用している。（※病院が検査室の場所を提供し、委託業者が、従業員・検査機器・試薬等消耗品を賄うという形態）この契約形態については、それぞれの病院の実態（急患等により夜間の緊急検査が多い等）により、検査業務の運用状況や特性等を踏まえ、適正かどうかを再検討するよう指示したい。
意見・質問	回答等
<p>【案件 2・3】</p> <p>リネンサプライ賃貸借物及びクリーニングの業務委託</p> <p>リネンサプライ・クリーニングの業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案件2・3について、一者応札となっているので、募集方法について工夫する余地はないか。 ・案件2・3について、契約書の様式がそれぞれで異なっていることから、管理面からも統一した方がよい。 ・案件3について、予定価格調書の算定基礎となる単価の設定根拠が不明確なので、きちんと資料に明示する必要がある。 ・地域ブロックごとの共同購入など、調達方法を検討してもよいのではないか。 ・案件3について、契約後に、2品目が覚書により追加されている。仕様書の内容と契約書の内容が異なるのは適切ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの公告掲載、十分な公告期間の確保、業者へ声掛けなど、再度徹底し指導したい。 ・契約書の様式は、できるだけ統一様式を使用するよう指導したい。 ・設定根拠などをきちんと記録し、決裁文書等に残すよう指導したい。 ・今後、近隣施設による共同購入も検討したい。 ・仕様書の内容と契約書の内容が異なることがないように徹底したい。

意見・質問	回答等
<p>【案件 4】</p> <p>CT画像3次元解析システム VINCENT</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムについて、緊急に修繕する必要があったのか。他で代替できなかったのか。 ・結果としてシステムのリプレイスとなっており、費用について事後に見積もりをとるなど金額の妥当性を審査する体制が必要だったのではないか。 ・稼働から6年と耐用年数的にも経っているので、買い替えの計画もあったのではないか。 ・緊急修繕ということであったが、結果的にリプレイスであり新機能も追加したということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・件数的にも3DCTに診断を頼ることが大であり、診断能力の低下を避けるための判断であった。 ・事前に準備をしておくべきところ、短時間での判断、検証が難しかった。今後、審査体制を検討したい。 ・経営的な判断で、特に大きな故障がなければ可能な限り使用していくという方針もあり、更新計画に載せていなかった。 ・そのとおりであり、今後については、計画的な買い替えを視野に入れ、検討していきたい。
意見・質問	回答等
<p>【案件 5】</p> <p>行政システムにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に係るシステム開発（詳細設計工程、製造・テスト工程）等作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、既製のシステムを取り入れていくことは考えているか。 ・システム開発にあたり、結果として一者との継続的な関係にあるわけだが、積算表の業務単価に掛けた割合は特別な値引きという意味か。 ・工数に関して、業者が適切に見積っているかどうかチェックしているのか。 ・予定価格は、概算額によりある程度決まってくるようだが、予算はどのように決まるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバーシステムにおけるプログラム開発であったとしても、単独で動くものではなく、既存の年金業務システムとの関係性があるため難しい。 ・業務単価は一般的な積算資料に基づき客観的に算出している。業務単価に掛けた割合は値引きではなく、プログラマーの単価を算出するためのものである。 <p>現在、業者側及び外部委託による審査専門のプロジェクトマネージャーを加えた定例会議、部内会議等を逐次開催し、進行状況や内容等を精査している。今後も将来を見据え、体制を見直していくつもりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に翌年度システム開発すべきある程度大まかな内容に基づき予算要求を行い、契約に当たっては、決定した予算の範囲内で再度当該年度で開発すべき内容を精査し、優先度合いに基づき予算範囲内で執行している。